

総選挙へ臨戦態勢を！

衆議選をめぐる情勢と当面の取り組みを課題とした全国幹事長会議が十月四日開催されました。解散総選挙の見通しは、臨時国会で補正予算が成立し、来年度の予算編成が本格化すれば、秋の解散は先送りされるのでは。

しかし、統一教会の解散命令や経済政策で支持率の回復、また十月二十二日の衆参補選で与党が全勝（二勝）すれば解散の可能性は高まると言われ、全国連合から一日も早く選挙態勢を整えることが提案された。

党員の皆さんに改めて周知します。

(1) 沖縄二区・新垣邦男議員の再選と九州ブロック比例一議席の必達。

(2) 都市部や東北ブロックで三議席合計五議席の当選をめざす。

(3) すべてのブロックで選挙区、又はブロック比例単独候補を擁立し、二%を獲得する。

九州ブロックへの期待が極めて



新垣邦男衆議院議員

大きなものがあります。大分県連合もこのことは十分に自覚をしています。すでに県連合は、比例区総合選対を結成し準備を進めています。皆さんには具体的行動を提起し、活動を要請することになります。絶大なご協力をお願いいたします。



第二十八回 大分支部連合定期大会開催

党大分支部連合（二村誠一代表）は九月八日、大分市内で代議員十六名が参加し、第二十八回定期大会を開催した。

二村代表は、あいさつの中で「県議選の取り組みのお礼と、来るべき衆議院議員選挙に向けて全党員一丸となつて頑張ろう」と訴えた。

高野幹事長から、党勢拡大、街宣活動の強化、平和・人権を守る取り組み、第五十回衆議院議員選挙闘争方針、陸上自衛隊大分屯地に長射程ミサイルを保管する弾薬庫の新設に反対する取り組みなどの運動方針が提起された。



代議員からは、「党の見える化の取り組みとして、大分市内に国民年金で暮らせる公営住宅の建設



を市に働きかけたらどうか」との発言があり、会場からは賛同する声が多数あがった。その後、運動方針を満場一致で承認し、最後に二村代表の団結ガンバローで閉会しました。

議会報告

豊後大野市議会議員

原田 健蔵

市議となつて早いもので三年目を迎える中、九月一日に開会され、九月二十九日に閉会。



一般会計補正予算については、歳入歳出予算総額それぞれ二億七八八六万五千円を追加し、総額を二九四億二七二万円とするものです。



原田健蔵市議会議員

主要案件としては、新型コロナウイルス予防接種事業五四八六万円、プレミアム商品券支援事業六二五五万円、国の農業政策の大幅転換といえる「米の生産調整に関わる」畑地化促進事業補助金二五〇〇万円。加えて本定例会では、令和四年度一般会計・特別会計の決算審査も実施。歳入二九〇億三四〇〇万円、支出二七〇億六七〇〇万円で実質収支額は、一六億八一六五万円。単年度収支は、二億八七五二万円の黒字決算となりました。

特に気になる点は、歳出予算額に対する執行率は八八、九%で不要額は、ここ四年間増額傾向にあり（本年度二二億円と過去最高）これまで以上に予算の進捗状況、適切な予算管理のチェックを痛感しました。

裏面に掲載している「大分数戸弾薬庫ミサイル問題を考える市民の会の歌」は池田年宏教員が作詞・作曲され歌っています。とても素晴らしい歌です。皆さんと広めていきたいと思っています。CDご希望の方は支部連合まで申し込み下さい。



戦争不安の時代に考える非戦の安全保障！

【柳沢協二・元内閣官房副長官補】

十月一日「大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会」が、柳沢協二氏（元内閣官房副長官）をアイネスの会場に招いて講演会を開催しました。



敷戸弾薬庫に長射程ミサイル大型保管庫二棟の建設、日出生台米海兵隊合同訓練が初めて年二回実施、陸上自衛隊湯布院駐屯地にミサイル連帯配備と、もはや県内は戦前状態といえる。

柳沢講師も沖縄・大分が、有事の際には最初に狙われる。弾薬庫・ミサイル基地が攻撃にさらされるのは火を見るより明らかである。

岸田自公政権は、中国・北朝鮮の軍事行動を必要以上に恐怖と国民をおり、防衛費を五年後には



四十三兆円とした。

政府のいう反撃能力は、先に敵基地を攻撃すると言っている先制攻撃となる。他国に恐怖を与えるのではなく、専守防衛に徹して平和外交に力を入れるべきである。軍事力を強化しても決して平和にはつながらないと話されました。

大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会の歌

作詞・作曲 池田 年宏

(1)いのち守ろう 平和求めよう

ミサイルはいりません 敷戸弾薬庫 何に使うの戦争のためでしょう 運び出されるミサイルは この街も狙われたなら

逃げるところなどないでしょう

※いのちを守るのはミサイルや銃ではなく 人間同士の信頼の力

平和のための戦争などあるものか

武器を置かなきゃ握手もできまいに

(2)子ども守ろう 平和求めよう

ミサイルはいりません

相手の国を先に攻めて戦をすると 国は言っている やめさせましょう

戦争を戦争反対 声をあげましょう

平和を求め この願いを

子どもたちに伝えましょう ※繰り返し

(3)暮らし取り戻そう 平和求めよう

ミサイルはいりません

自衛官を守るのには武力なんかじゃなく 戦争をしないこと若者の未来を照らすのは

世界に誓った憲法九条

年寄りが見守るは軍拡じゃなく

穏やかで やさしい暮らし

いのちのために平和を守りましょう

戦争を止めましょう ※繰り返し

平和をこころから 平和を世界に

Peace Peace Peace

Peace starts from here

Peace Peace Peace

for all the universe

♪平和が1番



ミサイルはいらない！ 小野よしみが 吠える～！



8月11日「大分敷戸弾薬庫ミサイル問題を考える会」が発足しました。大分市の敷戸団地、大分大学に隣接する敷戸弾薬庫に長距離ミサイルが保管されようとしています。

さらに、湯布院駐屯地には地对艦ミサイル部隊が配備されようとしています。もし、政府の言う台湾有事が起こった際には標的にされるのは明らかです。そこに暮らす住民のみならず周辺地域にも危害を及ぼします。避難計画さえもはっきりしていません。アメリカの言うがままに軍拡増税をはかる自衛隊強靱化計画の一貫です。外交努力をすることなく台湾有事に備える日本。果てしない軍拡競争にのめり込んでいくことを、今こそ食い止めていかなければなりません。

私たちは、いつまで重税に苦しめられなければならないのでしょうか？軍拡増税よりも社会保障に税金を使う、そう言った政治を諦めてはいけません。

敷戸弾薬庫にミサイルはいらない！

NO！ おおいたミサイル！



秋が来た～！

日田市の中山間地で約30a（3反）の水田を耕作しています。20年ぐらい前から自然農法（無農薬・有機肥料）で米を作っています。

肥料は近くの牧場が作っている牛糞の堆肥を反当たり2tほど入れてますが、問題は雑草対策でした。エンジン付きの除草機を入れても完全に取ることは出来ず、「米を作っているのかヒエを作っているのか分からない」圃場でした。

しかし2～3年ぐらい前、田んぼにジャンボタニシが入ってきて、これをうまく使って除草をすることで今年は人の手を入れることなく、雑草のない田んぼが広がっています。

家の前にある一部の田んぼは、掛け干しをしています。私の田舎でも、今では掛け干しをしている田んぼの風景はほとんど見ることはありません。体力がある限り、あと数年はこんな風景を残していきたいと思っています。

日田支部 本松 恒夫

戦争不安の時代に考える非戦の安全保障！

【柳沢協二・元内閣官房副長官補】

十月一日「大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会」が、柳沢協二氏（元内閣官房副長官）をアイネスの会場に招いて講演会を開催しました。



敷戸弾薬庫に長射程ミサイル大型保管庫二棟の建設、日出生台米海兵隊合同訓練が初めて年二回実施、陸上自衛隊湯布院駐屯地にミサイル連帯配備と、もはや県内は戦前状態といえる。

柳沢講師も沖縄・大分が、有事の際には最初に狙われる。弾薬庫・ミサイル基地が攻撃にさらされるのは火を見るより明らかである。

岸田自公政権は、中国・北朝鮮の軍事行動を必要以上に恐怖と国民をおり、防衛費を五年後には



四十三兆円とした。

政府のいう反撃能力は、先に敵基地を攻撃すると言っている先制攻撃となる。他国に恐怖を与えるのではなく、専守防衛に徹して平和外交に力を入れるべきである。軍事力を強化しても決して平和にはつながらないと話されました。

大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会の歌

作詞・作曲 池田 年宏

(1)いのち守ろう 平和求めよう

ミサイルはいりません 敷戸弾薬庫 何に使うの戦争のためでしょう 運び出されるミサイルは この街も狙われたなら 逃げるところなどないでしょう

この街も狙われたなら

逃げるところなどないでしょう

※いのちを守るのはミサイルや銃ではなく 人間同士の信頼の力

平和のための戦争などあるものか

武器を置かなきゃ握手もできまいに

(2)子ども守ろう 平和求めよう

ミサイルはいりません 相手の国を先に攻めて戦をすると 国は言っている やめさせましょう

戦争を戦争反対 声をあげましょう

平和を求め この願いを

子どもたちに伝えましょう ※繰り返し

(3)暮らし取り戻そう 平和求めよう

ミサイルはいりません 自衛官を守るのには武力なんかじゃなく 戦争をしないこと若者の未来を照らすのは 世界に誓った憲法九条

年寄りが見守るは軍拡じゃなく

穏やかで やさしい暮らし

いのちのために平和を守りましょう

戦争を止めましょう ※繰り返し

平和をここから 平和を世界に

Peace starts from here

Peace starts from here

Peace starts from here

Peace starts from here

Peace starts from here

Peace starts from here



♪平和が1番



ミサイルはいらない！ 小野よしみが 吠える～！

8月11日「大分敷戸弾薬庫ミサイル問題を考える会」が発足しました。大分市の敷戸団地、大分大学に隣接する敷戸弾薬庫に長距離ミサイルが保管されようとしています。

さらに、湯布院駐屯地には地対艦ミサイル部隊が配備されようとしています。もし、政府の言う台湾有事が起こった際には標的にされるのは明らかです。そこに暮らす住民のみならず周辺地域にも危害を及ぼします。避難計画さえもはっきりしていません。アメリカの言うがままに軍拡増税をはかる自衛隊強靱化計画の一貫です。外交努力をすることなく台湾有事に備える日本。果てしない軍拡競争にのめり込んでいくことを、今こそ食い止めていかなければなりません。

私たちは、いつまで重税に苦しめられなければならないのでしょうか？軍拡増税よりも社会保障に税金を使う、そう言った政治を諦めてはいけません。

敷戸弾薬庫にミサイルはいらない！

NO！ おおいたミサイル！



秋が来た～！

日田市の中山間地で約30a（3反）の水田を耕作しています。20年ぐらい前から自然農法（無農薬・有機肥料）で米を作っています。

肥料は近くの牧場が作っている牛糞の堆肥を反当たり2tほど入れてますが、問題は雑草対策でした。エンジン付きの除草機を入れても完全に取ることは出来ず、「米を作っているのかヒエを作っているのか分からない」圃場でした。

しかし2～3年ぐらい前、田んぼにジャンボタニシが入ってきて、これをうまく使って除草をすることで今年は人の手を入れることなく、雑草のない田んぼが広がっています。

家の前にある一部の田んぼは、掛け干しをしています。私の田舎でも、今では掛け干しをしている田んぼの風景はほとんど見ることはありません。体力がある限り、あと数年はこんな風景を残していきたいと思っています。

日田支部 本松 恒夫